

集積回路の設計コンテスト 有明高専生が敢闘賞



コンテストで敢闘賞を受賞した熊野修平さん(左)と井上優良さん

有明工業高等専門学校(大牟田市東萩尾町)の学生3人が、電子部品の設計技術を競う「LSI(高密度集積回路)デザインコンテスト」で敢闘賞を受賞した。

コンテストは半導体産業を担う次世代の育成を図り、九州工業大学や琉球大学でつくる実行委員会が毎年続けている取り組み。今回は、国内外の大学や高専から23チーム計約60人が参加した。

音声の雑音を取り除く集積回路の設計が課題。有明高専からは専攻科2年の井上優良さん(22)と熊野修平さん(22)、モングルから留学していたオドバヤル・アマルサイハンスさんの3人がチームで取り組んだ。

3人は昨年10月から集積回路のシステムの開発を進め、音声から雑音を取り除くことに成功。書類審査を経て、3月に琉球大学で行われた最終選考会に勝ち残った。

井上さんは「受賞はうれしいが、力を出し切れなかった部分もあった。来年も挑戦して、上位の賞を目指したい」。熊野さんは「実践を通して集積回路に関する知識が身についた。今後の研究の糧にします」と話した。